

報道機関各位

奥久慈地域の枝物産地における主力品目「ハナモモ」及び「ドウダンツツジ」の安定生産に向けた検討会を開催します

県北部に位置する奥久慈地域は、催事の装飾用途等で人気が高まる枝物の全国有数の産地です。当該産地で栽培される約250品目の枝物のうち、「ハナモモ」と「ドウダンツツジ」は、この2品目で全体販売額の約2割を占める主力品目となっています。

しかし、ハナモモでは近年、地域の一部で生育不良のほ場が確認されているほか、ドウダンツツジでは年々拡大する需要に対応するため、生産者自身が苗木の増殖・育苗に取り組む必要がある中、その技術が確立できておらず、対策が求められています。

こうした課題を解決するために、農業総合センター山間地帯特産指導所では、ハナモモの安定生産につながる台木品種や、ドウダンツツジの苗木増殖における最適な播種時期の特定等に取り組む、この度、研究成果をとりまとめたので、生産者等への説明並びに意見交換を行うことといたしました。

つきましては、本検討会について、是非取材して頂きたい、ご案内いたします。

【日時】 令和5年11月7日（火）13:30～16:00（受付開始 13:00）

【場所】 山間地帯特産指導所（大子町頃藤6690-1） 受付場所：2階会議室

【参集範囲】 県内枝物生産者、JA・市町・県等の関係機関 40名程度

- 【内容】
- 1 ハナモモの安定生産技術について（13:30～14:10）
 - 2 ドウダンツツジの苗木増殖・育苗技術について（14:10～14:50）
 - 3 ほ場見学（14:50～15:30）
 - 4 総合討論（15:30～16:00）

※当日は、ほ場での検討も行うことから、汚れてもよい履物と雨具持参でお越しください。

※小雨決行ですが、荒天の場合はほ場見学を中止することもあるので、予めご了承ください。



ハナモモ：本県産は開花揃いが良く、市場から高い評価を得ている
左図：出荷に向けた開花調整の様子
右図：ピンクや白の花を咲かせるハナモモ



ドウダンツツジ：涼やかな新緑が特徴で、近年、中国等の海外からの需要も高まっている
左図：ドウダンツツジの切り枝
右図：苗の様子



【問合せ先】 茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所 担当：檜山・助川 TEL：0295-74-0821
FAX：0295-74-0769
e-mail：o.sukegawa@pref.ibaraki.lg.jp